

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	地域課題研究
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	1 学年
ねらい	各種講話や研究テーマ・手法の確立、フィールドワークや中間・全体発表会の学びから、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力の育成を図り、地域社会と連携することで将来地域の担い手となる有能な人材の育成をする。 また、地域社会が抱えている諸課題に目を向け、調査研究・考察を行うことで、地域理解を図るの一助とする。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

地域社会に貢献できる人材になるために、仲間や地域社会と連携しながら諸課題の解決に主体的に取り組み、改善しようとする姿勢や地域理解を図ろうとする態度を身に付ける。

〔活動内容〕

1 講話を聴く（「総合的な探究の時間」ガイダンス・職業人講話・地域理解講座）

4月から6月にかけて、探究活動の意義や地域理解、職業人についての講話を実施した。

「総合的な探究の時間」ガイダンスでは、認定NPO法人底上げ成宮崇史氏、一般社団法人まるオフィス三浦亜美氏、登米市地域おこし協力隊志田敏典氏から、探究活動の意義や具体的な事例、課題設定時のポイントや自己理解等についてお話しいただき、自分のやりたいことを追究し、それを社会に還元するための契機とした。続いて、職業人講話としてフリーアナウンサー・情報誌『りらく』編集長の渡辺祥子氏からご講演いただき、働くことの意味や社会人としての役目を知るとともに、地域の将来を考える上で大切なことや課題の捉え方のポイント、高校生が持つべき視点を理解した。さらに、観光、産業振興、健康推進、医療課題、防災、自然・環境、子育て支援、移住支援、教育の計9分野に従事する登米市役所職員の方々にお話しいただき、各分野における登米市の現状と課題について理解を深め、自身の興味関心ある分野を選択することにつなげた。

2 研究テーマ・手法の確立

自分の興味関心や各種講話で得た知見をもとにグルーピングを行い、仮の研究テーマや仮説の設定を行った。Will（やりたいこと）、can（できること）、need（必要とされていること）を下地として興味関心のある分野の知識を広げ、キーワードを絞り込み深掘りすることで、より具体的なテーマや仮説を設定することができた。

3 中間発表会・振り返り

計61グループが9教室に分かれ、設定した研究テーマや課題、仮説の検証方法等を大学の先生方に発表し、質疑応答及び助言をしていただいた。スライドを作成し大勢の前で発表することを通じて生徒のプレゼンテーション能力を高めるとともに、研究の手法についてアドバイスをいただいたことで今後の探究活動に生かしていこうという意欲が醸成された。

4 フィールドワーク・まとめ

中間発表会での指導助言を受けて、研究テーマや仮説の検証方法をブラッシュアップした上で、市内外にある公所、事業所を訪問して聞き取り調査を行った。また、校内の生徒、教職員や地域の小中学生及び住民にアンケート調査を行ったり、実際に啓発ポスター等を作成したりすることで、研究のまとめの一助とした。仲間内での聞き取りやインターネット検索による一面的な調べ学習に止まることなく、地域のリアルな声や課題を吸い上げて研究に資することができた。

5 全体発表会・振り返り

計61グループが一堂に会し、3つのセッションに分かれて3回ずつポスターセッションを行った。中間発表会アドバイザーの大学教授をはじめ、フィールドワークでお世話になった市役所や地域の事業所、近隣小中高等学校教員にも多数ご参観いただき、質疑応答に加わってもらったことで、活発なやりとりが生まれ、新たな課題や研究テーマに気付くまたとない機会となった。

〔自分・未来をみつめ志を育む〕

学校と地域の公所や事業所が一体となり、地域の現状や諸課題を理解し、その解決策を主体的に考えていこうと促している。さらに高校生らしい新しい発想から課題を解決し、地域を盛り上げていくために、具体的な指導助言をいただいている。座学だけでは経験できない生きた教材を活用することで、将来の担い手となるような地域の有為な人材の育成を図っている。



「総合的な探究の時間」ガイダンスの様子



職業人講話の様子



地域理解講座の様子



探究発表会（中間発表）の様子



探究発表会（ポスターセッション）の様子①



探究発表会（ポスターセッション）の様子②